

# 9月議会の一般質問ごあんない

## ～ なすまどか議員 ～

日時:9月8日(木) 11:10～12:10

### 【質問項目】

- ・新型コロナ対策 (医療体制・発熱外来、検査の拡充など)
- ・物価高騰対策 (消費税減税、市独自の支援) ・公契約条例
- ・ジェンダー平等 ・エアコン設置補助 ・補聴器購入助成 など

## ～ 上野みえこ議員 ～

日時:9日 12日(月)10:00～11:00

### 【質問項目】

- ・子育て支援3つのゼロ (学校給食・子ども医療費・国保子ども均等割)
- ・公民館の自主講座 ・障がい者のさくらカード ・庁舎建替え
- ・公務員の働き方 ・住環境を守る ・統一協会問題 など



# 統一協会と政界との関係解明・断絶を！

## 現政権の責任で、実態解明・被害の根絶を求める意見書(案)を提出

日本共産党市議団は9月議会に、「統一協会と政界との深い関係を政権の責任で徹底解明し、関係を断ち切るよう求める意見書」(案)を提出しました。

統一協会は、靈感商法による高額な壺・印鑑などの売りつけ、高額献金の強要で、深刻な被害をもたらした反社会的カルト団

体です。政治家との癒着や自治体の後援などが「お墨付き」となり、反社会的活動を容易にし、是正を困難にしました。

被害の防止、政治・行政への信頼回復へ、岸田政権の責任で、統一協会と政界との関係の実態を解明し、関係断絶の取り組みをすすめるべきです。

### \* 場所は、市役所議会棟 5 階・本会議場

傍聴受付は、議会棟5階です。

どなたでも傍聴できます。

\* 直接傍聴の場合は、感染予防対策にご協力ください。

(検温・手指消毒・マスクの着用など)

\* インターネットの同時中継は、[熊本市議会 HP](#) で視聴できます。



日本共産党  
熊本市議会だより

NO. 1290  
2022年9月4日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047



熊本市中央区手取本町1-1 メール: [kumamsu@gamma.ocn.ne.jp](mailto:kumamsu@gamma.ocn.ne.jp)  
発行: 日本共産党熊本市議団HP: [共産党 熊本市議団](#)

検索



上野みえこ  
(中央区)



なすまどか  
(東区)

【控室から】  
性暴力の実態調査が示したもの  
なすまどか

内閣府は今年6月、16～24歳の若年層を対象とした性暴力被害に関する初の実態調査の結果を発表しました。性暴力を「望まない性的な言動」と定義し、痴漢など「身体的接触」、「言葉」、「性交」など五つに分類して調査。被害経験の有無を聞いた6224人(1次調査分)のうち、4人に1人が何らかの被害に遭ったことが「ある」と答えています。

調査の中で特に気になった点が、警察に相談した被害者は9%にとどまり、家族や友人も含め「どこ(だれ)にも相談しなかった」人が36.6%もいたことです。被害にあった方は、「異性と会うのが怖くなった」、「外出するのが怖くなった」、「感覚がよみがえる」など、性暴力により心身に深い傷を負っていることも改めて明らかになりました。

性被害は思い出すのもつらく、声を出すこと自体、大きなエネルギーが必要です。共産党国会議員団の追及により実態が明らかになり、政府も対策に動き出したことは大きな前進ですが、早期に具体的な対策が必要で、被害者が相談できる仕組みづくり、ジェンダー平等の立場からの性被害根絶に向けた周知、加害者の更生など、課題は様々ありますが、性被害根絶に向け、力を尽くす決意です。

# 2022年9月議会に提案された補正予算の主な内容

9月議会には、総額76億4,754万円の補正予算が提案されました。うち大部分を占める68億7,013万円が新型コロナウイルス関連分です。その他の補正が7億2,741万円(560万円の熊本地震関連分を含む)です。

その他の補正で特徴的なのは、マイナンバー・デジタル化推進や、外部委託を次々にすすめる内容となっていることです。

## 【新型コロナ関連の補正】

- 介護施設等の感染防止対策 6,650万円  
(8施設に簡易陰圧装置設置、9施設に家族面会室等の整備)
- 高齢者施設への介護サービス継続支援 4,600万円  
(業務継続支援のため介護職員・看護師による支援チームを4カ月派遣)
- ワクチン接種経費 37億9,300万円
- ワクチン接種のための高齢者のタクシー利用支援 3,840万円
- コロナ感染症対策経費 22億6,780万円  
(感染拡大を踏まえたPCR検査費・入院医療費の増額分)
- コロナ検査体制強化経費 698万5,000円  
(環境総合センターのリアルタイムPCR検査装置更新・1台分)
- 旅行商品割引事業 6億円  
(熊本市への宿泊を伴う旅行商品に対する割引助成)
- 農業金融対策経費 95万円  
(原油・物価高騰による影響を受けた農業者のコロナ対策緊急支援借入金への利子補給・保証料助成)
- 公共交通利用促進事業 5,000万円  
(「バス・電車無料の日」の実施経費、2回実施予定)



以上のほか、新型コロナ対応地方創生臨時交付金を活用した「ウクライナ避難民生活支援経費」に156万円も予算化されています。

## 【その他の補正】

- 戸籍システム改修 3,280万円 (マイナンバーカードでの戸籍謄本取得)
- 社会保障・税番号制度推進経費 3億円  
(高校・大学・地域等で出前によるマイナンバーカード申請の推進・700回)
- 植木火葬場建替事業 4,630万円 (設計費ほか)
- 老人福祉施設整備費助成 2億1,480万円 (建設費・6カ所)
- 老人福祉施設開設準備経費助成 9,020万円 (備品費・6ヶ所)
- 高齢者施設等防災機能強化支援事業 2,290万円  
(グループホーム等の非常用自家発電設備整備の費用)
- 社会保障・税番号制度システム対応経費 440万円  
(マイナンバーカードにより介護給付を受けられるようにするシステム改修)
- 児童家庭センター運営経費 470万円  
(相談件数増加による指導員1名の増員予算)
- 児童虐待防止のためのSNS相談事業 170万円  
(2023年2月から全国一元的に導入される虐待防止のためのSNSを活用した相談体制の整備・・・相談を外部委託するもの)
- 中小企業オープンイノベーション促進事業 1,500万円  
(中小企業の課題解決・新規事業創出への支援、5社対象)
- 農地利用効率化等支援交付金事業 2,075万円  
(農地利用効率化のための機械・施設の導入への支援、6カ所)
- 国産濃厚飼料生産拡大推進事業 261万円  
(飼料穀物の国内生産への転換促進のための農業者への支援、1ヶ所)
- 植木地域「農産物の駅」屋根増築事業 560万円
- 市民病院医療機器更新 4,000万円 (MEDシステム他)
- 教育ICT活用不登校対策 750万円 (学習アプリ、バーチャル教室)
- 台湾交流推進経費 608万円 (TSMC熊本進出を踏まえた台湾訪問)

